



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月27日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スクロール
コード番号 8005 URL <https://www.scroll.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴見 知久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括部長 (氏名) 杉本 泰宣 TEL 053-464-1114
四半期報告書提出予定日 2023年11月7日 配当支払開始予定日 2023年11月30日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	40,016	△2.3	3,374	△3.5	3,438	1.9	2,346	0.6
2023年3月期第2四半期	40,965	△2.1	3,496	△25.3	3,373	△28.4	2,333	△27.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,876百万円 (19.7%) 2023年3月期第2四半期 2,402百万円 (△26.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	67.15	—
2023年3月期第2四半期	66.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	51,286	33,258	64.8
2023年3月期	53,200	31,997	60.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 33,258百万円 2023年3月期 31,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	38.00	48.00
2024年3月期	—	24.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	18.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	△1.3	5,300	△13.4	5,400	△12.8	3,600	△13.7	103.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	35,098,550株	2023年3月期	34,981,050株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	411,298株	2023年3月期	9,181株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	34,943,441株	2023年3月期2Q	34,888,594株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行され、行動制限や入国規制が解除されたことに伴い、人流が回復し、経済活動の正常化が進みました。一方、原材料や資源価格の高騰、為替相場の急激な変動、ウクライナ情勢の長期化等の影響により、先行きは依然として不透明な状況となっております。小売業界におきましては、仕入価格や物流費をはじめとした各種コストの増加に加え、急激な物価上昇に伴う消費マインドの低下が懸念されており、厳しい経営環境となっております。通販業界におきましては、外出機会の増加に伴う実店舗への回帰が進んでいることに加えて、参入企業の増加に伴い業種・業態を越えた競争が激化しております。

このような環境のなか、当社グループは、「ダイレクトマーケティングソリューションカンパニー（DMSC）への転換」をテーマとする新たな中期経営計画「Direct Marketing Solution 2025」を策定いたしました。二大重点方針に「事業ポートフォリオの最適化による成長戦略の推進」「実効性のあるResponsibility経営の推進」を掲げ、ソリューション事業の成長加速に注力するとともに、環境・社会課題の解決に向けた取組みを推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高40,016百万円（前年同四半期比2.3%減）となりました。利益面におきましては、営業利益3,374百万円（同3.5%減）、経常利益3,438百万円（同1.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,346百万円（同0.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

また、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの記載順序を変更しております。

① ソリューション事業

ソリューション事業におきましては、通販ソリューションメニューのワンストップ提供企業として、EC・通販事業者のサポートを行っております。物流代行においては、全国通販3PL戦略を掲げ、新規顧客の獲得に向けた営業活動や新サービスメニューの開発、物流センターの効率改善等に取り組んでまいりました。また、決済代行においては、新規クライアントの稼働に伴い取扱高が堅調に推移し、マーケティングサポートにおいては、アフィリエイトサービスの取扱ジャンルの拡充などにより好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は11,491百万円（前年同四半期比13.8%増）となり、セグメント利益は400百万円（同74.2%増）となりました。

② 通販事業

通販事業におきましては、原材料や資源価格の高騰、円安が続く厳しいコスト環境のなか、販売価格のコントロールに取り組んだことに加え、商品供給率の改善により、受注が落ち込むなかでも前年同期を上回る売上総利益を確保いたしました。このほか、カタログ用紙使用量削減に向けた取組みによる販促費の上昇抑制や物流効率の改善など、事業効率の最大化に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は20,566百万円（同3.3%減）となり、セグメント利益は3,336百万円（同0.1%減）となりました。

③ eコマース事業

eコマース事業におきましては、外出機会が増加したことで消費者の購買行動が変化したことにより、厳しい経営環境となっております。アウトドア・キャンプ用品におきましては、需要が落ち着いたことや業種業態を越えた競争が激化したことの影響により販売が不調となったほか、ブランド商材や生活雑貨においても受注数が落ち込むなど、厳しい結果となりました。

以上の結果、売上高は8,214百万円（同19.2%減）となり、セグメント損失は334百万円（前年同四半期はセグメント損失235百万円）となりました。

④ HBT事業

HBT事業におきましては、化粧品・健康食品ビジネスにおいて、新規商品の開発に努めてまいりました。また、旅行ビジネスにおいては、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う旅行需要の回復を受け、増収となりました。

以上の結果、売上高は722百万円（前年同四半期比9.4%増）となり、セグメント損失は41百万円（前年同四半期はセグメント損失95百万円）となりました。

⑤ グループ管轄事業

グループ管轄事業におきましては、自社保有物流施設等の不動産賃貸、当社グループの物流オペレーション及び海外子会社の管理を行っております。物流オペレーションにおいては、東海・関西・関東エリアにおけるセンター運営の強化を進め、安定的な運営体制の構築に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は1,624百万円（前年同四半期比3.8%減）となり、セグメント利益は75百万円（同24.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は51,286百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,913百万円減少いたしました。この主な要因は、現金及び預金の減少、未収入金の増加、棚卸資産の増加、売掛金の増加によるものであります。

(負債)

負債は18,027百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,175百万円減少いたしました。この主な要因は、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

純資産は33,258百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,261百万円増加し、自己資本比率は64.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ5,161百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は5,105百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は425百万円（前年同四半期は1,205百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上、法人税等の支払額、その他の流動資産の増加、営業債権の増加、棚卸資産の増加などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は21百万円（前年同四半期は232百万円の使用）となりました。これは主に、固定資産の取得による支出、事業譲渡による収入などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4,713百万円（前年同四半期は1,944百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出、配当金の支払額などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月9日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました2024年3月期の通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2023年10月27日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,267	5,105
売掛金	11,377	12,362
棚卸資産	8,754	9,739
未収入金	4,870	6,176
その他	1,367	1,497
貸倒引当金	△487	△519
流動資産合計	36,149	34,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,499	6,303
土地	5,489	5,489
その他(純額)	940	902
有形固定資産合計	12,928	12,694
無形固定資産		
のれん	42	21
その他	728	751
無形固定資産合計	770	772
投資その他の資産		
その他	3,733	3,931
貸倒引当金	△381	△474
投資その他の資産合計	3,352	3,457
固定資産合計	17,051	16,923
資産合計	53,200	51,286
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,707	2,708
短期借入金	3,000	3,000
未払金	7,516	7,853
未払法人税等	1,453	1,247
引当金	515	430
その他	1,337	1,085
流動負債合計	16,529	16,323
固定負債		
長期借入金	3,000	—
引当金	54	53
退職給付に係る負債	1,456	1,487
その他	162	163
固定負債合計	4,673	1,704
負債合計	21,203	18,027

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,064	6,116
資本剰余金	6,993	7,045
利益剰余金	18,344	19,358
自己株式	△4	△391
株主資本合計	31,396	32,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	566	832
繰延ヘッジ損益	△13	243
為替換算調整勘定	47	54
その他の包括利益累計額合計	600	1,130
純資産合計	31,997	33,258
負債純資産合計	53,200	51,286

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	40,965	40,016
売上原価	25,750	23,675
売上総利益	15,214	16,341
販売費及び一般管理費	11,718	12,967
営業利益	3,496	3,374
営業外収益		
受取利息	9	7
受取配当金	25	28
債務勘定整理益	2	29
その他	26	50
営業外収益合計	63	115
営業外費用		
支払利息	10	9
為替差損	174	35
その他	2	5
営業外費用合計	187	50
経常利益	3,373	3,438
特別利益		
投資有価証券売却益	10	15
事業譲渡益	—	100
特別利益合計	10	115
特別損失		
固定資産除却損	6	12
投資有価証券売却損	2	—
特別損失合計	9	12
税金等調整前四半期純利益	3,374	3,541
法人税、住民税及び事業税	1,189	1,165
法人税等調整額	△147	29
法人税等合計	1,041	1,194
四半期純利益	2,333	2,346
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,333	2,346

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,333	2,346
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	265
繰延ヘッジ損益	52	256
為替換算調整勘定	25	7
その他の包括利益合計	68	529
四半期包括利益	2,402	2,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,402	2,876
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,374	3,541
減価償却費	478	481
のれん償却額	21	21
株式報酬費用	24	50
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	44	123
その他の引当金の増減額 (△は減少)	19	△86
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	39	30
受取利息及び受取配当金	△35	△36
支払利息	10	9
投資有価証券売却損益 (△は益)	△8	△15
固定資産除売却損益 (△は益)	6	12
事業譲渡損益 (△は益)	—	△100
営業債権の増減額 (△は増加)	△415	△996
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,504	△985
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	401	△1,250
仕入債務の増減額 (△は減少)	△126	9
未払債務の増減額 (△は減少)	△1,067	205
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	40	△154
その他	0	1
小計	1,304	863
利息及び配当金の受取額	35	36
利息の支払額	△10	△11
法人税等の支払額	△195	△1,381
法人税等の還付額	72	67
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,205	△425
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△58	△47
無形固定資産の取得による支出	△142	△95
投資有価証券の売却による収入	28	30
事業譲渡による収入	—	100
差入保証金の差入による支出	△51	△0
差入保証金の回収による収入	8	3
その他	△18	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△232	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	2,000
短期借入金の返済による支出	—	△2,000
長期借入金の返済による支出	△50	△3,000
自己株式の取得による支出	△0	△387
配当金の支払額	△1,893	△1,325
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,944	△4,713
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△952	△5,151
現金及び現金同等物の期首残高	7,142	10,267
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△9
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,189	5,105

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの記載順序を変更しております。これに伴い、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントの記載順序を同様に變更しております。

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソリューション 事業	通販事業	eコマース 事業	HBT事業	グループ 管轄事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	8,904	21,261	10,133	655	10	40,965	—	40,965
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,190	2	36	5	1,678	2,913	△2,913	—
計	10,094	21,263	10,170	660	1,688	43,878	△2,913	40,965
セグメント利益 又は損失(△)	229	3,341	△235	△95	100	3,339	33	3,373

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、未実現利益等33百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソリューション 事業	通販事業	eコマース 事業	HBT事業	グループ 管轄事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	10,557	20,566	8,161	718	12	40,016	—	40,016
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	933	0	52	4	1,612	2,603	△2,603	—
計	11,491	20,566	8,214	722	1,624	42,619	△2,603	40,016
セグメント利益 又は損失(△)	400	3,336	△334	△41	75	3,436	2	3,438

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、未実現利益等2百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。